

芸術文化を活用した被災地支援事業

宮城県、岩手県、福島県で被災地支援のアートプログラムを展開

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、平成23年度より宮城県、岩手県、福島県の3県において、被災地域のコミュニティに対して、地域の多様な文化環境の復興を支援する事業を継続的に展開しています。6年目となる平成28年度の事業一覧をお知らせします。



【主なプログラム】

・【宮城県】「つながる湾プロジェクト」

松島湾とその沿岸地域の文化を再発見し、地域内外の人々と共有するプログラムを実施します。今年度は、過去3年間の取組の成果を活かした新たなプログラムづくりに着手するとともに、地域の活動を紹介し合うネットワーキング事業を実施します。

・【岩手県】「ぐるぐるミックス in 釜石」

釜石市に震災以降に設立されたこども園を舞台に、子供と大人が共につくる「あそび場」のプログラム「ぐるぐるミックス」を実施します。東京都台東区谷中で展開してきた本プログラムのノウハウを活用し、釜石市独自のプログラムとしての発展を目指します。

・【福島県】「森のはこ舟アートプロジェクト」

福島県全域で展開する「福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo」の一環として実施する事業です。森林文化をテーマに、地域と連携し、地元食文化や地域の伝統文化等を活用したプログラムを県内各所で開催します。

※プログラムの詳細については、別紙「平成28年度「芸術文化を活用した被災地支援事業」一覧」をご覧ください。



本事業の取り組みをまとめたインタビュー集『6年目の風景をきく』を発刊しました。

本冊子は、アーツカウンシル東京のウェブサイトからダウンロードできます。

※「アーツカウンシル東京」ウェブサイト <https://www.artscouncil-tokyo.jp>

<問い合わせ先>

生活文化局文化振興部文化事業課 電話 03-5320-7703

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) 電話 03-6256-8432

別紙 平成28年度「芸術文化を活用した被災地支援事業」一覧

●主催プログラム

県	プログラム名	実施時期	実施地域	実施概要
宮城	つながる湾プロジェクト	平成29年3月まで随時	宮城県塩竈市、東松島市、七ヶ浜町ほか、松島湾沿岸地域	過去3年間、松島湾とその沿岸地域の文化を再発見し、味わい、共有し、表現することで、地域や人・時間のつながりを「陸の文化」とは違った視点でとらえなおす試みを続けてきた。引き続き湾の文化の再発見と共有を続けるとともに、この地域で生きていこうとする若者や、地域の文脈に興味を持つ他地域の人びとが、古来続く海辺の営みとそれに伴って育まれてきた文化に誇りを持ち、内外へ発信していく土壌を育むためのプログラムの創造や、メディアの制作に取り組む。
	こどもを対象としたワークショップ(仮)	平成29年3月まで随時	丸森町(予定)	被災状況が見えにくい内陸部において、こどもを対象としたワークショップを実施する。
岩手	ぐるぐるミックス in 釜石	平成29年3月まで随時	釜石市	釜石市に震災以降に設立されたこども園を舞台に、東京都台東区谷中で実施されてきた「ぐるぐるミックス」のノウハウを活用したこどもとあそびのプログラムを実施する。将来的にはこども園の近隣の復興公営住宅の高齢者も対象としたプログラムへと発展を目指す。
	ノコノスコープ in 釜石・大槌(仮)	平成29年3月まで随時	釜石市・大槌町	震災以降に収集した画像データや地域の古い写真などを活用し、地域の記録の再利用と震災の記憶の継承に用いることを目指すプログラムを開発・実施する。
	釜石アート支援プログラム「とうほくのこよみのよぶね」	平成29年3月	釜石市	東日本大震災で亡くなられた方々への慰霊の気持ちと復興への願いを行燈型の船に込めたプログラムを実施する。
福島 (福島 県)	森のはこ舟アートプロジェクト	平成29年3月まで随時	会津エリア	森林文化をテーマとしたアートプロジェクトを展開。地域と連携し、地元食文化や地域の伝統文化等を活用したプログラムを通して、森の文化から新たな福島のイメージを創造、発信する。 ※ 広報連携等を行うパートナーシッププログラムも実施
	クロージングフォーラム	平成29年3月	会津若松	森のはこ舟アートプロジェクトの3年間の成果を、関係者をはじめ、より広い人々と共有するためのフォーラムを実施予定。
	西会津エリア「森を漕ぐ」	平成29年3月まで随時	西会津町	西会津エリアの重要な生業のひとつであった「出ヶ原和紙」を題材にレクチャーやワークショップを行う。
	喜多方エリア「高郷プロジェクト」	平成28年11月まで随時	喜多方市高郷町	美術家・稲垣立男氏による3年間の地域リサーチの成果をとりまとめ、喜多方市内でプロジェクトの成果展示を行う。
	喜多方エリア「楚々木楽舎」	平成28年11月まで随時	喜多方市楚々木集落	美術家・岩間賢氏が継続的に集落に通い、リサーチ(「祝祭」(とくに結婚式))を重ねてきた成果として喜多方市内で9月に「森の婚礼」を実施し、その後成果展示を行う。
	三島エリア「森 光 水 Natural Energy Valley Mishima」	平成29年1月まで随時	三島町	アーティストの逢坂卓郎氏と筑波大学の学生が地域のエネルギー研究会や住民と共に地域をリサーチし、展覧会を実施する(展覧会は1月に実施予定)。
	三島エリア「縄文採集型・古民家リノベーション」	平成29年1月まで随時	三島町	縄文時代の「採集」生活に着目し、三島町の自然素材を用いて古民家を再生させる。三島エリアで取り組んできた複数年のプロジェクトの成果をまとめて振り返る機会をつくる。逢坂氏のプログラムや西会津×三島のプログラムとの連動性も図る。
	西会津エリア「にしあいづ・縄文と森の学校」	平成28年12月まで随時	西会津町	「縄文」をテーマとし、太古の記憶、現代の表現と現在の生活などを交錯させることで、地域全体を「縄文ミュージアム」としてつくりあげていく。
	猪苗代エリア「森の国ノ氷の国(仮)」	平成29年2月まで随時	猪苗代町	はじまりの美術館と協働し、地域特有の自然現象「しづき氷」をテーマに現代美術家・木村崇人氏のプロジェクトを実施予定。
	北塩原エリア「磐梯山の森は、できたてほやほや」 「絵画やスケッチを通してみる磐梯山」※既に終了	平成28年10月まで随時	北塩原村	磐梯山の噴火をテーマに地域の歴史や植生などを知るためのレクチャーシリーズやジオツアーを実施する。
	南相馬エリアプログラム	平成29年3月まで随時	南相馬市	南相馬エリアで復興を掲げて活動する人々とアーティストをつなぎ、地域に根差したアートプログラムを構築する。
	パートナーシッププログラム	平成29年3月まで随時	県内各所	森のはこ舟アートプロジェクトを契機として生まれたプログラムや関連性の高いプログラムを広報連携等により実施する。
	学校連携共同ワークショップ 「おとなりアーティスト2016」	平成29年1月まで随時	福島市ほか県全域	3名の美術作家を講師に招き、学校で児童・生徒対象と交流しながら創作を行うワークショップを開催する。
	情報発信プログラム	平成29年3月まで随時	福島市ほか県全域	県内アートプロジェクトを集約し、地元での活動にも活用できるウェブサイトを作成する。
	コミュニティ支援プログラム	平成29年3月まで随時	福島県いわき市	震災以降の地域状況を踏まえて、これから長期的な復興に関わる地域で持続可能な文化政策の構想と、地域の文化資源を活かした複合的なアプローチのプログラムを実施する。
実践プログラム:リサーチ拠点形成事業(仮)	平成29年3月まで随時	福島県いわき市	地域コミュニティの分断や軋轢に対して、住民間の交流を生み出すアートプログラムを実施する。地域の被災者支援団体と連携し、これまで「マナビバ!」等で実施してきたプログラムの実績を活かしたプログラムも行う。	
構想プログラム:文化政策セミナーシリーズ(仮)	平成29年3月まで随時	福島県いわき市	いわき市との共催で、震災後の地域状況を踏まえた長期的な文化政策の指針を検討するためのセミナーを実施する。	

※各プログラムの詳細については、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)までお問い合わせください。

電話 03-6256-8432